

昭和音楽大学 教育目的とアドミSSIONポリシー

【教育目的】

昭和音楽大学は、教育基本法及び学校教育法にしたがい、広く知識を授けるとともに、音楽を中心としたさまざまな領域に関する技能、理論及び応用を深く教授研究し、もって広い視野と高い識見を持つ人材育成を行い、文化の向上と社会の福祉に寄与することを目的とする。

【アドミSSIONポリシー】

本学は、「礼・節・技の人間教育」を建学の精神とし、各々の専門分野における実践的な能力を備えた教養豊かな人材を育成することを目的としています。建学の精神と教育目的を理解し、基礎的な演奏技術や専門知識だけでなく、基礎的な学力と豊かな人間性を併せ持ち、将来、音楽人として社会に貢献することが期待できる資質・能力を有する人材を受け入れます。

【受験生の皆さんへ】

昭和音楽大学は、入学後、本学での学修が充実したものとなるよう、「アドミSSIONポリシー」（入学者受入方針）を定めています。「アドミSSIONポリシー」は、入学前に身に付けておいていただきたい学力や資質・能力を示すもので、これに基づいて、入学試験科目を設定しています。

入学試験科目はコースごとに定めていますが、共通して身につけておくことが望ましい知識や能力、態度は以下のとおりです。

- ・楽典や音楽理論の基礎知識
- ・ソルフェージュの基礎能力（楽譜を読む、書く、歌う力、音を聴く力）
- ・外国語（英語）の基礎力（読む、書く、聞く、話す力）
- ・音楽・芸術の各分野に応じた基礎的な技術及び能力
- ・音楽・芸術について思考し、判断し、自ら表現する力
- ・多様な人々の中で、主体性を持って意欲的に学ぶ態度